

音楽 I シラバスの例

教科	芸術(音楽 I)	単位数	2 単位	学科・学年・コース・組	普通科 1 年 1 組～3 組
使用教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)				
副教材等	The Basics of Music 2 訂版(教育芸術社)				

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。
1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
3 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 年間学習計画 (学校やクラスの実態に応じて題材や教材を選択するとよい。)

月	題材名	教材名	学習活動	評価方法等
4	音楽的な視野の拡大 ①さまざまな曲や発声を体験しよう	O Waly Waly、Ave Maria、群青、翼をください、歩いて帰ろう、若者のすべて、'O sole mio、花、小さな空、Les Champs-Élysées	・曲種に応じたさまざまな発声の方法を工夫しながらそれぞれの曲を歌う。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
	②楽譜を読む力・書く力を高めよう	ソルフェージュ、楽典、Plymouth Rock、Clap、Tap with CUPS!	・楽譜の正しい読み方や書き方を身に付け、表現に生かすようにする。 ・ボディーパーカッションやコップを用いたりリズム・アンサンブルをする。	課題進度状況 学習プリント 単元テスト
	③鑑賞曲のプレゼンテーションにチャレンジ 情景を描く音楽を味わおう	音楽を織りなすさまざまな要素 組曲《動物の謝肉祭》 交響詩《ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら》	・音楽を形づくるさまざまな要素や、それらの働きについて理解する。 ・C.サン＝サーンスについて学び、楽曲を鑑賞した後、プレゼンテーションをする。 ・R.シュトラウスについて学ぶとともに、情景と音楽的特徴との関わりに留意しながら楽曲を鑑賞する。	学習プリント 学習プリント
5 ・ 6	表現を工夫して歌曲やオペラ・アリアを歌おう	Caro mio ben、この道、むこうむこう、Heidenröslein、Sah ein Knab ein Röslein stehn、Wiegenlied、ハバネラ、闘牛士の歌	・曲の内容や特徴を捉え、それぞれにふさわしい表現ができるよう工夫する。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント

	ピアノによるさまざまな表現効果を聴き取ろう オペラを鑑賞しよう	J.S. バッハ《平均律クラヴィーア曲集》、ベートーヴェン《熱情》他 オペラ《カルメン》	・鍵盤楽器の歴史について学び、音色や音域、表現の特徴などに着目しながら楽曲を鑑賞する。 ・G.ビゼーについて学ぶとともに、オペラの場面や心情などと、音楽や演奏表現の特徴を感じ取りながら楽曲を鑑賞する。	学習プリント 学習プリント
7	前期中間のまとめ ウクレレの弾き歌いにチャレンジ クローズ・アップ・マエストロ W.A. モーツァルト	Michael, Row The Boat Ashore、 真珠貝の歌 交響曲第25番、 ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》他	・前期中間のまとめとして考査を受ける。 ・ウクレレの奏法を身に付け、コード表を見ながら演奏したり弾き歌いしたりする。 ・W.A. モーツァルトについて学ぶとともに、生涯の各時期を代表する楽曲を鑑賞する。 ・グループごとにモーツァルト以外の作曲家を一人選び、探究学習をする。	前期中間考査 観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 学習プリント
9	和楽器(三線)の弾き歌いにチャレンジ ヴォイス・アンサンブルを楽しもう 創作表現の探求 I 前期のまとめ	鳥唄、海の声、 ていんさぐぬ花 残酷な天使のテーゼ、 Do-Re-Mi、美女と野獣 創作 I オノマトペ でリズム・アンサンブルをつくろう	・調絃や勘所の押さえ方など、三線の奏法を身に付け、曲を演奏する。 ・タイミングを合わせたり、ハーモニーを味わったりしながら、ヴォイス・アンサンブルや二重唱をする。 ・《キッチン・ミーティング》の例を参考にし、グループごとにリズム・アンサンブルをつくり、発表する。 ・前期のまとめとして期末考査を受ける。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 創作作品 学習プリント 前期末考査
10	リコーダー・アンサンブルを楽しもう 和楽器(篠笛)の演奏にチャレンジ 日本の伝統音楽を鑑賞しよう 能の謡にチャレンジ	天国と地獄、C-a-f-f-e-e、Castle On A Cloud 他 たこたこ あがれ、かごめ かごめ、子守歌、お囃子 雅楽《陵王》、能《道成寺》、箏曲《みだれ(乱輪舌)》、尺八曲《鹿の遠音》 ツヨ吟《高砂》 ヨワ吟《羽衣》	・リコーダーの奏法を身に付け、曲を演奏したりアンサンブルをしたりする。 ・唇の当て方や運指など、篠笛の奏法を身に付け、曲を演奏する。 ・さまざまな日本の伝統音楽について学ぶとともに、それぞれの特徴に着目しながら楽曲を鑑賞する。 ・謡の発声の特徴や、ツヨ吟とヨワ吟の違いを感じ取りながら謡う。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 単元テスト 観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
11 ・ 12	ギター演奏と弾き歌いを楽しもう さまざまな器楽アンサンブルを体験しよう	木星、日曜日よりの使者、第三の男のテーマ ミッション:インボッシブルのテーマ、 The First Noel、Twist And Shout	・ギターの奏法を身に付け、TAB 譜やコード表を見ながらメロディーまたは伴奏パートを演奏したり弾き歌いしたりする。 ・曲種の特徴を知る。 ・パートの役割を理解して、音色の特徴を生かしながらアンサンブルをする。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 観察・聴取 課題進度状況 学習プリント

	創作表現の探求2	創作2 旋律の雰囲気を変化させよう 創作3 演奏スタイルを変化させよう	・《虹の彼方に》の旋律に音や休符を加えたり、リズムや拍子などを変えたりしながら変奏する。 ・《虹の彼方に》の旋律にハーモニーとベースのパートを加えて三重奏に編曲する。 ・ドイツ語の発音に留意して歌う。 ・L.v. ベートーヴェンについて学ぶとともに、楽曲の構成や歌詞と音楽的特徴との関連などに着目しながら鑑賞する。 ・ジャズについて学ぶとともに、アレンジや演奏表現の違いに着目しながら楽曲を鑑賞する。 ・後期中間のまとめとして考査を受ける。	観察・聴取 課題進度状況 創作作品 学習プリント
	声楽とオーケストラによる響きや表現を味わおう	歓喜の歌、交響曲第9番 ニ短調《合唱付き》から第4楽章		観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
	What is JAZZ?	枯葉		学習プリント
	後期中間のまとめ			後期中間考査
1・2	ハーモニーを味わいながら合唱をしよう 創作表現の探求3	いのちの歌、故郷、言わない、早春、懐かしきケンタッキーの我が家、いつか、海へ 創作4 順次進行をもとにメロディーをつくらう	・パートの役割を理解するとともに、ハーモニーを感じ取って合唱する。 ・歌詞の内容にふさわしい表現を工夫する。 ・順次進行を用いてメロディーをつくる。 ・つくったメロディーにコードを付けたり、コードの構成音から音を選んで一部を跳躍進行に変えたりする。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 観察・聴取 課題進度状況 創作作品 学習プリント
	映画音楽を聴こう	映画『ハリー・ポッターと賢者の石』とその音楽	・代表的なテーマについて、その表現内容と音楽を形づくる要素との関連について考える。 ・場面に応じてテーマがどのように変化しているか留意して鑑賞する。	観察・聴取 課題進度状況 創作作品 学習プリント
	世界の諸民族の音楽	世界の諸民族の音楽 京畿道アリラン、美しいエンメンタル	・世界の諸民族の音楽について学び、曲を鑑賞する。	学習プリント 観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
	自分や社会にとっての音楽について考えよう	Rock History、歌謡曲からJ-POPへの100年	・曲に合った発声や表現を工夫して歌う。 ・教科書に取り上げられた楽曲からどれか1つを選択し、音楽的特徴を理解するとともに音楽と社会との関わりについて探究学習を行う。 ・日本のポピュラー音楽の歴史を学び、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考える。	
3	1年間のまとめ		・1年間の学習の総まとめとして学年末考査を受ける。	学年末考査

3 課題・提出物等

表現領域では、さまざまな実技課題が出されます。個々のレベルに合わせて習熟できるよう時間を設定していますので、目標の達成に向けて進んで課題に取り組んでください。

鑑賞領域では、学習内容が単元テストや定期考査で出題されます。教科書や学習プリントを活用してください。

4 評価規準・評価方法

評価は次の3つの観点から行います。
(国立教育政策研究所のホームページより抜粋 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_ongaku.pdf)

なお、下表中の「事項」は、学習指導要領 音楽Ⅰの内容に示されている指導事項を示します。
(文部科学省 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf)

A 表現(歌唱、器楽、創作)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・[事項イの(ア)、(イ)、(ウ)]について理解している。(※創作分野の場合は、事項イの文末を「～している」に変更する。) 【知識】	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱(※器楽分野の場合は「器楽」、創作分野の場合は「創作」)表現を創意工夫している。	主体的・協働的に歌唱(※器楽分野の場合は「器楽」、創作分野の場合は「創作」)の学習活動に取り組もうとしている。
・創意工夫を生かした歌唱表現(※器楽分野の場合は「器楽表現」、創作分野の場合は「創作表現」)をするために必要な、[事項ウの(ア)、(イ)、(ウ)]を身に付けている。【技能】		

B 鑑賞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・[事項イの(ア)、(イ)、(ウ)]について理解している。【知識】 (「技能」に関する評価規準は設定しない。)	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、[事項アの(ア)、(イ)、(ウ)]について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価は、学習の取り組み状況(観察・聴取)、授業態度、実技における課題進度状況、学習プリントの記入状況、創作作品、単元テスト、定期考査などをもとに総合的に判断して決定します。また、成績が過去の音楽学習経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習到達度によって評価します。

5 担当者からのメッセージ

・演奏の授業では、歌唱(独唱、合唱など)、器楽(ウクレレ、ギター、リコーダー、篠笛、太鼓、三線など)の分野で、バラエティーに富んだ音楽体験ができるようになっていきます。さまざまなジャンルにチャレンジして、音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。

・創作の授業では、自分でつくった作品を発表したり、作品について互いに意見を交換したりする機会を設けています。音楽を通してプレゼンテーションの力を身に付けましょう。

・鑑賞の授業では、聴くだけではなく音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。